

事業名	男女共同参画推進センター運営事業	実施計画事業or一般事業	一般事業	市長公約	該当なし	総合戦略	該当なし
		施策横断的な取組との関連性	SDGs該当あり	コンパクトシティ	該当なし	スマートシティ	該当あり

1. 基本情報

担当組織	部	市民生活部	予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰返し
	課	人権・男女共同参画課	男女共同参画推進センター運		款	2	新規or継続	継続事業
	係	男女共同参画係	営事業		項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	712	名称	根拠法令、条例等	目	16	義務or任意	任意的事業
	基本目標	7	市民参加による自立したまちづくり	佐野市男女共同参画推進セン	事業開始年度	H21	実施方法	直営
	政策	1	人権を尊重した市民参加によるまちづくり	ター条例、佐野市男女共同参画	終了年度		事業分類	啓発事業
	施策	2	個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現	推進センター条例施行規則				

2. 事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（1）事業概要

事業概要	男女共同参画社会の実現に向けた施策の実施及び団体等の活動拠点である佐野市男女共同参画推進センター（パレットプラザさの）の利用促進のための運営を行う。
------	--

（2）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	男女共同参画推進センターの推進を図る。	効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
		センター利用回数	回	110	110	110	110	110
		センター利用者数	人	680	680	680	680	680

（3）目標値

3. 前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（1）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	団体企画実践講座の開催（5回） 参考図書（図書5冊、白書1冊）を情報コーナーへ配架し、広報紙やホームページ等で貸出等の情報提供	活動指標	単位	R3	R4	R5
		団体企画実践講座実施回数	回	2	5	5
		新たな参考図書配架冊数	冊	6	7	6
		事業費計	千円	146	210	214
		一般財源	千円	146	210	214
		特定財源（国・県・他）	千円			
		（うち受益者負担）	千円			

（2）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

（3）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	団体の定期的な利用や、団体企画実践講座の会場としての利用が増加した。	効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
		センター利用回数	回	87	91	95	値が小さいほど良い	効果が下がった
		センター利用者数	人	542	585	767	値が大きいくほど良い	効果が上がった

（4）事業効果を説明する数値データの推移

↓選択して下さい

（5）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）	費用の増減無し	※ 1 0 万円以上の増減により判断		効果		
効果 (R5とR4の指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	費用	効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
	効果は変わらない指標数	0指標		費用は下がった		
	効果が下がった指標数	1指標		費用の増減無し	○	
	指標全体	効果は変わらない		費用が増加した		

4. 次年度に向けた検討

（1）令和 5 年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

関係団体の利用数は確保できているものの、一般市民の男女共同参画推進センターに関する認知度が低い。利用者を増加するためにPRの工夫が必要。
--

（2）上記反省点及び課題を踏まえた、令和 6 年度及び令和 7 年度の取組

☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り）	取組説明 男女共同参画ネットワークさのや所属団体の活動で、積極的にセンターを利用するよう働きかける。また、一般市民にも男女共同参画推進センターを知ってもらうため、効果的なPRの仕方を検討する。
---	---

事業名	女性活躍推進事業	実施計画事業or一般事業	実施計画事業	市長公約	2-⑤	総合戦略	該当あり
		施策横断的な取組との関連性	SDGs	該当あり	コンパクトシティ	該当なし	該当なし

1．基本情報

担当組織	部	市民生活部		予算中事業名	予算科目	会計	一般	事業計画	単年度繰り返し
	課	人権・男女共同参画課		女性活躍推進事業		款	2	新規or継続	継続事業
	係	男女共同参画係				項	1	市単独or国県補助	市単独事業
政策体系	体系コード	712	名称	根拠法令、条例等		目	16	義務or任意	任意の事業
	基本目標	7	市民参加による自立したまちづくり		事業期間	開始年度	S55	実施方法	直営
	政策	1	人権を尊重した市民参加によるまちづくり			終了年度		事業分類	人材育成事業
	施策	2	個々の人権を尊重する地域社会の形成と男女共同参画社会の実現						

2．事業概要と目的及び（基本計画期間内）目標値

（１）事業概要

事業概要	あらゆる分野において、女性の活躍を推進するため、各種講座（女性のキャリアアップ講座、働き方改革講座）の開催や県主催の研修会等へ参加する市民を支援するとともに女性人材バンクの活用を推進する。また、ワークライフバランス等の啓発を展開する。
------	---

（２）目的

目的 (本事業によって成し遂げたい状態)	女性活躍に係る講座や再就職相談会等に参加する市民が増える。
-------------------------	-------------------------------

（３）目標値

効果指標	単位	R3	R4	R5	R6	R7
女性活躍の講座等の参加者数	人	160	165	165	170	170
再就職相談会、セミナー等の参加者数	人	30	31	32	32	32

3．前年度の実績（活動及び費用対効果）説明

（１）活動実績

活動実績 (R5年度に行った主な活動内容)	講座等の開催 3回（女性のキャリアアップ講座、職員研修会等） 女性の再就職相談会等の開催15回（定例相談12回、特設相談2回、就職準備セミナー） とちぎウーマン応援塾への派遣 2人 女性人材バンク登録者 登録者23人、審議会への登用5人
--------------------------	---

（２）活動を説明する数値データ及び事業費の推移

活動指標	単位	R3	R4	R5
講座等の実施回数	回	0	6	3
再就職相談会等の実施回数	回	11	15	15
事業費計	千円	1	195	54
一般財源	千円	1	195	54
特定財源（国・県・他）	千円			
（うち受益者負担）	千円			

（３）活動による効果

効果説明 (定量及び定性)	女性活躍の講座等の参加者数は増加した一方、再就職相談会等の参加者は減少した。
------------------	--

（４）事業効果を説明する数値データの推移

効果指標	単位	R3	R4	R5	指標の性質	R4とR5の比較
女性活躍の講座等の参加者数	人	0	104	183	値が大きいほど良い	効果が上がった
再就職相談会、セミナー等の参加者数	人	21	28	23	値が大きいほど良い	効果が下がった

↓選択して下さい

（５）費用対効果結果（自動判定）

費用（R5とR4の一般財源増減）		費用は下がった	
効果 (R5とR4の 指標値増減)	効果が上がった指標数	1指標	
	効果は変わらない指標数	0指標	
	効果が下がった指標数	1指標	
	指標全体	効果は変わらない	

※ 10万円以上の増減により判断

効果		
効果が上がった	効果は変わらない	効果が下がった
費用	費用は下がった	○
	費用の増減無し	
	費用が増加した	

4．次年度に向けた検討

（１）令和５年度の事業実施における反省点、環境変化や関係者からの意見等を踏まえた検討課題、費用対効果向上のための課題

女性のキャリアアップ講座はアンケート結果の満足度も高く、内容が受講者に適していたと考えらるため今後の企画の参考にする。また、再就職相談会は相談者が減少しているため、周知方法を工夫する。

（２）上記反省点及び課題を踏まえた、令和６年度及び令和７年度の取組

取組説明
☐ 事業の在り方検討（廃止、休止、再編成、受益者負担の見直しなど） ☒ 事業効果を上げるための事務改善の検討 ☐ 事業費の見直し検討 ☐ 業務時間効率化のための事務改善の検討 ☐ 特に検討事項無し（現状維持又は現状の計画通り） 満足度の高い講座内容にするため、アンケートの結果を活かす。参加者を増やすために、SNSを活用した周知方法を充実させるなどの取組を行う。